

{学芸員のある1日}

[大阪市立自然史博物館] 学芸員 長谷川匡弘さん

九州大学で博士号を取得。一般企業を経て学芸員になって今年で9年目。専門は植物生態学。年代物のスピーカーホンを使って今日も元気にガイド!



球果スペシャルイベントに密着!

長居植物園を学芸員と“知識散歩”

1974年に自然史博物館が長居公園に移転して以来、毎月欠かさず行われている市民向けの長居植物園案内イベント。去る2月1日に行われたのは「球果スペシャル」。球果〜いわゆるマツボックリを観察しつつ広大な園内を散策し、研究者からライブで解説が聞け

るという内容で、90名以上の熱心な植物学ファンが集まりました。このイベントの企画から運営までを取り仕切っていたのが長谷川匡弘さん。イベントのために、午前中はまず園内の下見調査からスタート。収集した植物を市民ボランティアの方々と一緒に下調べします。午後からの園内散策では、ゲスト解説員である植物化石の専門家・塚腰実さんのレクチャーも含め、90分ほどの

間にメタセコイア、カラマツなどたくさんの樹木の球果や種子、花と出会うことができました。ふだんは博物館に所蔵されている数十万点の標本のデータベース化を行ったり、研究活動のためフィールドワークに出かけることも多い長谷川さん。「自分の研究に自由に組み入れることが一番うれしい。標本整理も、イベントでお客様とふれあうことも、すべてが楽しい」と語っていました。



11:30 a.m.

採取した植物の下調べ

朝一番に植物化石の専門家・塚腰さんと一緒に植物園内を探索し、見ごろの植物サンプルを収集。自然史博物館「友の会」のプロ級ボランティアの方々とともに顕微鏡や図鑑、文献を使って下調べを行います。



1:30 p.m.



長居植物園の散策に出発!

この日はメタセコイアやカラマツの球果をメインに観察。深い森を散策中、カワセミにも遭遇しました! 植物園の中に博物館があるという理想的な環境だからこそできるイベントです。



4:00 p.m.

友の会カードに直筆サイン

イベントに参加すると「友の会」のカードに一人ずつ丁寧にサインを。サインがたまると記念品がもらえるそうです。

長谷川学芸員必須アイテム

「フィールドノート」

フィールドワーク中のメモに使っているという年季の入ったノート。大阪市立自然史博物館のショップで購入できます。



コレクション・ギャラリー #01

2021年度開館! 大阪中之島美術館の名作

「髪をほどいた横たわる裸婦」 アメデオ・モディリアーニ 1917年

モディリアーニの代表作と言われる裸婦像。生前に開かれた唯一の個展で発表されたと伝えられています。日本人の美術評論家がパリで購入し、1934年に日本で初公開された後、芦屋の山本發次郎が収集しました。挑戦的で強いまなざしと健康的な肉体美が印象的です。大阪中之島美術館はこれら西洋近代絵画の名作も多数所蔵。近代のアヴァンギャルドな空気を感じることができます。



表紙の答え

A. 「大きな馬」

レイモン・デュシャン=ヴィヨン(1914年/1966年 铸造)

実際は150cmもの高さがあるこのブロンズ像。まるで何かのマシンのようにも見えますが、躍動する馬を迫力満点に表現した作品です。作者が1900年のパリ万博で見た重厚な機械をヒントに制作されました。[大阪中之島美術館蔵]

OSAKA MUSEUMS vol.12

動物たちが暮らす

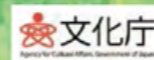
ミュージアムに

Q.さて、これは何の動物? 答えは裏面へ



TAKE FREE
大阪市内
6ミュージアムの
トピックス & スケジュール
2020
4月 - 6月

2021年度
開館予定
大阪中之島美術館
の住人です。



平成31年度 文化庁
地域の博物館を中核とした
クラスター形成事業

【ミュージアムに暮らす動物たち】

ここにも! あそこにも!

ミュージアムには
たくさんの動物が
潜んでいる

ミュージアムに行く目的はさまざま。好きな作家の作品が見たい、国宝級の美術を鑑賞したい、街の歴史が知りたい、ほっと星空や自然を見て癒されたい…。でもちょっと視点を変えてみると、ミュージアムはたくさんの動物と出会うアニマル・パラダイス。桜やバラ、街路樹の新緑 etc. 街の自然もカラフルになるこの季節。カワイイ! おもしろい! ヘン顔! の動物たちを探して、ミュージアムのパラレルワールドを体験!

大阪市立東洋陶磁美術館 The Museum of Oriental Ceramics, Osaka



学芸員
おすすめ! ゆる〜い表情やキレイな色彩が
ツボにハマります!

東アジアのものを中心に、いろんな時代の陶磁器を所蔵する当館には、猛獣や鳥、魚から想像上の霊獣まで、生き物を描いた作品がたくさんあります。あなたのお気に入りを見つけてくださいね。



幸せの青い鳥が運ぶ
春の目覚め

「法花花鳥文壺」明時代/15世紀

展示室でもひとときわ目を引く鮮やかなブルーの壺。高さ44.5cmもあるこの大作は、明時代の中国で生まれました。近寄って見ると文様が立体的な線で描かれているのがわかります。牡丹、梅、木犀などの花々に囲まれて2羽の鳥が仲睦まじく佇む世界観に、ついウットリ…。

重要
文化財

あり余る財産と
子宝を願って!

「青花蓮池魚藻文壺」

元時代/14世紀

蓮池を優雅に泳ぐのは、大きな口がチャーミングなケツギョ。魚の中国語音が「余」と同じで“財産が余る”、さらには卵を多く産むことから子孫繁栄の吉祥の意味も表わすとされ、この時代に好んで描かれたのだそうです。

重要
文化財



長〜いまつ毛が少女マンガ風

「鉄砂虎鷲文壺」朝鮮時代/17世紀後半

何をそんなにビックリしてるの? 丸いパッチリ眼の虎は、まるで少女マンガの主人公のように長いまつ毛が特徴。ユーモラスな表情ながらも、背後に立ちこめる雲や、裏側には2羽の鷲も描かれていてストーリー性を感じさせます。



大阪歴史博物館 Osaka Museum of History



ネズミはどこにいるかな?
ミクロ探検隊気分で
ジオラマ観察

大阪歴史博物館の自慢のひとつは、9階にある中世都市・堺の町並をリアルに再現したビッグスケールのジオラマ。その中には今年の干支・米粒ほどの小さなネズミが潜んでいます。他にも常設展示には、人と動物の関係がわかる資料がたくさんあります。ぜひ足を運んでみてください。



「中世都市の
町並み」のネズミ

〜16世紀ごろの堺の町並み

信長や秀吉の時代に日本で宣教師として活動したポルトガル人、ルイス・フロイス。彼が綴った『フロイス日本史』には、当時の堺の町には『おびたしい数のネズミがいた』と記しています。棒を振り上げてネズミを追いかける子どもと、その背後にいる宣教師…ジオラマは当時の情景をリアルに表現しています。

見ざる! 言わざる! 聞かざる!
三匹そろって三猿!

「三猿図小絵馬」明治時代

小絵馬には、神仏の使いとなるいろいろな動物が描かれます。この絵馬は、四天王寺の庚申堂にかけられていたもので、目・口・耳をそれぞれ押さえた「三猿」がユーモラスに登場しています! 猿は、「申」の字が猿を意味することもあり、庚申信仰で重視されました。





地下鉄工事で偶然見つかった、世界でただ1体の貴重な化石

「ビルの下に眠っていたクジラ」

1966年、地下鉄延長工事の最中に、今里駅の地下14mから出土したカツオクジラの頭部の化石。当初はミンククジラとされていたのですが、最近の当館学芸員の研究で何と世界初のカツオクジラの化石であることが判明しました。



頭だけで1m×3mの大きさ!



学芸員
豆知識!
およそ8000~4000年前の縄文時代、大阪平野のほとんどが海の底でした。



プラネタリウムで夜空に広がる動物の星座を楽しもう



プラネタリウム

「ファミリータイム」

～星空のどうぶつたち～

夜空には動物の星座がたくさんあり、その星座によっては神話などの物語に関係しているものも多いのです。そんな星座の解説を、プラネタリウムでお楽しみいただけます。さらに3月は、お子さま向けのプログラム「ファミリータイム」で「星空のどうぶつたち」を投影しますよ。

学芸員おすすめ!

展示場4階「宇宙とその発見」フロアにある「ステラリウム・星空早見」では、大阪やオーストラリアでの好きな日時の星空を見る事ができます。どんな動物の星座があるか、探してみましょ。



stellarium®



[2021年度開館予定]



伝統の孔雀図を油彩で表現

「孔雀」赤松麟作 1894年

鮮やかな孔雀の羽に、紅葉が舞い散る風景…赤松麟作は、伝統的な花鳥画のモチーフを、油絵具で写実的に描き、二つ折りの屏風に仕立てました。この作品を描いた当時、赤松はまだ16歳ほどだったことにも驚かされますね!



秀吉時代に庶民に流行 安産のお守りわんこ

「豊臣時代の犬の土人形」作者不詳 16世紀末

豊臣秀吉の時代、大坂の街で安産のお守りとして庶民に流行した犬の土人形。こちらは体長5cmほどのミニタイプで、くるんと巻き上げたしっぽ、コロんとした形、つぶらな瞳が何とも愛嬌たっぷり。出土品はすべて姿も表情も違うので、じっくり見比べてみましょう。



唐の快僧、虎をもあやつる!? 中国・朝鮮王朝時代の逸品

「豊干禅師図」作者不詳 朝鮮王朝時代 / 17-18世紀

中国・唐時代の禅僧として知られる豊干禅師。数々の神秘的な伝説を持ち、虎にまたがって現れると言われていいます。虎の力強い表情とともに、それをやすやすと手なずける豊干の豪快さも表現されていますね。

学芸員おすすめ!
コレクション展示
「鳥獣草木-中国・朝鮮王朝の絵画」
5/12(火)~6/14(日)
本館にて展示します!





4 APRIL	5 MAY	6 JUNE
<p>大阪市立科学館</p> <p>企画展 はやぶさ帰還10周年 小惑星探査機「はやぶさ」の地球帰還からちょうど10周年を迎えるのに合わせ、「はやぶさ」ミッションに関わる資料を展示します。</p>		
<p>写真: M51 ©NASA/STScI/AURA</p> <p>◎「HAYABUSA 2 ~REBORN」制作委員会</p> <p>プラネタリウム (別途料金必要) ●銀河うずうず ●HAYABUSA 2 ~REBORN サイエンスショー ●やわらか物体 だいへんしん</p>	<p>5/31</p>	<p>7/12</p>
<p>大阪市立東洋陶磁美術館 表記料金で館内すべての展示を観覧できます。</p> <p>特別展 天目—中国黒釉の美 国宝「油滴天目」をはじめとした、美術館所蔵品と個人所蔵作品を交えた24点を展示。中国陶磁の歴史上、重要な系譜である「黒釉陶磁」の美を紹介します。 [料金] 一般1,400円、高校生・大学生700円</p> <p>特別展 竹工芸名品展：ニューヨークのアービー・コレクション—メトロポリタン美術館所蔵 [料金] 一般1,200円、高校生・大学生700円</p>		
<p>4/12</p>	<p>4/25</p>	<p>8/16</p>
<p>大阪歴史博物館</p> <p>NHK大河ドラマ特別展 麒麟がくる 主人公・明智光秀にまつわる人物やゆかりの品など、同時代の歴史資料を展示。 [料金] 一般1,400円、高校生・大学生900円</p> <p>特集展示 発掘成果から考える 近世都市「おおさか」の食文化 大坂に暮らした人々の器や食材の痕跡を紹介。</p> <p>特集展示 発掘された難波京 古代難波京について、出土品をもとに研究の現状を紹介。</p>		
<p>4/11</p>	<p>5/10</p>	<p>6/14</p>
<p>大阪市立美術館</p> <p>特集展示 没後50年 浪華の女性画家 島成園 美人画の領域を越えた衝撃的な作品を発表して注目を集めた、堺生まれの女性日本画家・島成園(1892~1970)。没後50年展。</p> <p>『無題』島成園 大正7年(1918) 大阪市立美術館蔵 (森本美津子氏寄贈)</p> <p>『人物頭部花弁文織角布』(部分) コプト・6~7世紀 大阪市立美術館蔵</p> <p>コレクション展 古代エジプト コプトの美術 エジプトのコプト教徒(キリスト教)は地中海文化の影響で織繻による文様で衣類などを飾りました。本展は、コプト裂を中心に紹介。</p> <p>特別展 フランス絵画の精華 [料金] 一般1,400円、高校生・大学生900円</p>		
<p>4/11</p>	<p>5/12</p>	<p>6/14</p>
<p>大阪市立自然史博物館</p> <p>特別展 知るからはじめる外来生物 ~未来へつなぐ地域の自然~ 動物や昆虫、植物など、私たちの身の回りにはいる多種多様な外来生物。駆除するべき? そんなのかわいそう? まずは現状を正しく知ることからはじめましょう。 [料金] 一般500円、高校生・大学生300円</p> <p>テーマ展示 世界—変な火山展</p>		
<p>4/11</p>	<p>5/10</p>	<p>5/31</p>

※金額表記がない場合、常設展示観覧料でご覧いただけます。 ※中学生以下、大阪市在住の65歳以上の方(一部特別展を除く)、障がい者手帳等お持ちの方は無料です。 ※団体割引などがある場合があります。詳しくは各施設へお問い合わせください。

気の向くままに、ミュージアム散策を楽しもう!

OSAKA MUSEUMS

M = Osaka Metro ★ = OSAKA MUSEUMS 周辺イベント情報

大阪中之島美術館
2021年度OPEN
外観イメージ(大阪市提供) 設計/遠藤克彦建築研究所

中之島エリア
大阪市立科学館
〒530-0005
大阪市北区中之島4-2-1
☎06-6444-5656
[開館時間] 9:30AM~5:00PM
※展示場入場は4:30PMまで
※プラネタリウム最終投影は4:00PMから
[休館日] 月曜(祝日・休日の場合は翌平日)、6/1~6/4

★安藤忠雄設計による「こども本の森 中之島」開館予定

★5月中旬~下旬 中之島バラ園が見ごろ!

大阪歴史博物館
〒540-0008
大阪市中央区大手前4-1-32
☎06-6946-5728
[開館時間] 9:30AM~5:00PM
※入館は閉館の30分前まで
※特別展会期中の金曜日は8:00PMまで
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌平日)
※4/28(火)・5/5(火・祝)は開館、5/7(木)は休館

大阪城エリア
大阪市文化財協会
〒540-0006
大阪市中央区法円坂1-6-41
☎06-6943-6833
[開館時間] 9:00AM~5:00PM
※要事前連絡
[休館日] 土曜・日曜・祝日・年末年始

★3月下旬~4月上旬 大阪城公園の桜が見ごろ!

天王寺エリア
大阪市立美術館
〒543-0063
大阪市天王寺区茶臼山町1-82(天王寺公園内)
☎06-6771-4874
[開館時間] 9:30AM~5:00PM
※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜(祝日・休日の場合は翌平日)、展示替期間
※5/7(木)は開館

長居エリア
大阪市立自然史博物館
〒546-0034
大阪市東住吉区長居公園1-23
☎06-6697-6221
[開館時間] 9:30AM~5:00PM
(11月~2月は4:30PMまで)
※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 月曜(祝日・休日の場合は翌平日)

★5月中旬~長居植物園のバラが見ごろ

OSAKA MUSEUMS vol.13 2020年6月発行予定

『OSAKA MUSEUMS』では、大阪市立美術館、大阪市立自然史博物館、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪市立科学館、大阪歴史博物館、大阪中之島美術館、大阪市文化財協会を中心として、大阪市の博物館・美術館の魅力と情報を発信しています。

『OSAKA MUSEUMS』主な設置場所 ▶ 大阪市内の各種情報センター、交通施設、文教施設、観光事業者、ホテル、複合商業施設、区役所ほか

『OSAKA MUSEUMS』vol.12 2020年3月10日発行
発行/地方独立行政法人 大阪市博物館機構
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 大阪歴史博物館内
TEL 06-6940-4330(代表)
制作/丸山印刷株式会社

